

自主防災訓練



【常安学区】

■世帯数：1,971 世帯

■人 □：5,227 人

■面 積：0.624 k m²

平成 24 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

- ・ 自主防災会（自治会）の防災活動の強化
- ・ 学区救助地区本部と自主防災会との情報伝達
- ・ 高齢者など要援護者の把握と支援方法の工夫
- ・ 給水、給食、防災倉庫の整備、救急救命などの訓練

【住民へのPR 方法】

チラシの回覧

【アピールポイント】

毎年、主要目標を定めて訓練を強化している。また、要援護者（高齢者など）の名簿を、民生委員児童委員の協力を得て作成している。

2 きっかけ、背景

学区自主防災訓練は、学区の成立以来続けられているが、特に平成 23 年 3 月の東日本大震災以降、強化している。

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

区政協力委員、町内会・自治会長、民生委員児童委員、保健委員、消防団員
計約 50 人

(2) 他団体との協力

消防団、自主防災会

(3) 運営協力

民生児童委員協議会、保健委員会

4 実施のスケジュール

毎年 4 月 学区連絡協議会で日程の調整

7 月 学区連絡協議会で計画案の審議

8 月 学区連絡協議会で計画についての情報連絡

9 月初旬 自主防災訓練のちらしを組回覧へ

9 月 最終打ち合わせ



5 成果と課題

(1) 成果・効果

- ・ 訓練に参加することで、住民意識が高まるとともに住民間の交流が深まり、規模も大きくなっていく。
- ・ 参加者の増加。

(2) 苦労した点

- ・ 参加者の確保、住民の理解を得ることに苦労した。
- ・ 各自主防災会との協力。

(3) 今後の課題・展望

- ・ 活動の継続、担い手の世代交代、他団体との協力。
- ・ 消防署など行政機関との緊密な協力が必要。